



## THE 19th CAMELLIA FESTIVAL



花と緑ののいち

# 橋まつり

『ふれあいと橋で和む 住みたい都市』  
2008

人化偶會

第 21 号

発行人  
野々市町文化協会会長  
内村栄一  
事務所  
野々市町教育委員会文化振興課  
野々市町字三納18街区1番  
TEL (076) 227-6121

成夏を迎へ、皆様方におかれましてはいかがお過ごしでしようか。

会場では、椿の花をモチーフにした、柱と天井で和みの空間をつくり、椿を介して「ひと」と「ひと」がふれあい、やさしいきもちがふれあい、小ホールには、天井から椿の花をモチーフにしたオブジェを吊り下げ、花の内部に照明器具を取り付け、大きな「椿の灯り」とし、にぎわいを演出していました。

また、春の訪れを告げる色鮮やかに咲き誇る、約千点あまりの椿の切り花が町内各所から提供され来場者の目を楽しませてくれまし

会場内では、椿に関する催し物を幾つも開催し、多數のお客様にご来場して頂きました。ここに関係各位に改めて心から厚く御礼を申し上げます。有難うございました。

さて、椿まつりが開催されてから来年で20年となります。現在、20周年記念催事に向けて準備委員会を発足し、準備がすすめられています。今後とも、各団体並びに各位様が益々ご健勝で、町民のご理解とご支援のもと一層活発な活動を推進されてご発展されますとともに、町づくりにご貢献されますことを祈念申し上げ、私のあいさつとさせて頂きます。



野々市町文化協会

会長 内村 栄

〔ノリ〕あいさつ

文化 団体 一覧	団体名		代表者	設立年	会員数	団体名		代表者	設立年	会員数
	1	野々市じょんから節保存会	久保 异	昭和35年	66名	10	読書会連絡協議会	魚住 慧子	昭和61年	28名
	2	菊花協会	南 憲志	36年	24名	11	社交ダンス愛好会	山谷 光輝	61年	48名
	3	椿愛好会	宮崎 昭男	49年	60名	12	民謡協会	山口 正昭	平成元年	91名
	4	美術文化協会	北 清志	52年	76名	13	俳句協会	奥村誠一路	3年	36名
	5	音楽文化協会	朝倉 喜裕	52年	250名	14	茶道協会	安田 光男	5年	93名
	6	華道協会	若島 翠節	53年	79名	15	短歌協会	香城 清子	7年	21名
	7	盆栽愛好会	星場 外也	54年	33名	16	能楽愛好会	富田 孝	16年	42名
	8	囲碁協会	西永 正雄	57年	120名					
	9	将棋協会	鈴谷久太郎	58年	105名		計			1,172名

## 音楽文化協会

「音楽」とは、文字通り音楽を楽しむことです。私たち音文協の会員は管弦打楽器、あるいは和楽器、そして歌を日々楽しんでいます。長い人生の中で、自分の好きな楽器を演奏する時、それは、本当に素晴らしい時間となります。

いま、高齢化が進む中、音楽療法の必要性が高まっています。音楽の持つ不思議な力を感じずにはおれません。

## 華道協会

私たち華道協会は、七流派会員七十九名で町の催しに協賛し、そして華道協会の花展などの活動を行っています。五月二十四日、二十五日に、華道協会の花展を開催しました。七百名余の方々にご来場いただきました。

南連絡先  
248-1196まで

## 盆栽愛好会

私たち、盆栽愛好会では毎月の様に、行事を行っております。中でも年三回の展示会は六月の「初夏の盆栽展」等、会場設営から作品展示そして日割り当番と会員みんなの楽しい行事となっています。

その他の月々には毎回、盆栽の肥培管理を始め、植え替え、技の剪定等手入れの研修は勿論ですが、盆栽や山野草など珍しい品々の交換も会員みんなの大好きな楽しみです。

盆栽愛好会はこの様な組織です。町中には沢山の愛好家の方々が見受けられます。どうぞ仲間にご参加下さい。お問い合わせ申しあげています。

入会金・千円 年会費・三千円

## 団碁協会

碁は、一年を通じて長い期間楽しめる最高の趣味だね。例会は、中央公民館で、土曜の晩と日曜の午後に、楽しく碁一緒に打ちたいね、待っていますよ。

基は一手ごとに最善手を考えて打つことから、児童生徒は試験に、職場では適切な対応を、老いてはボケ防止に、新しい友たちを増やせる

と、良いことばかりだね！

開幕万歳

## 加盟団通信

### じょんから節保存会

「じょんから」といえば野々市がすぐ頭に浮かぶほど有名な同町の伝統芸能である「野々市じょんからまつり」。会場内ステージにおいて、最後までお囃子を続け、踊りの輪を盛り上げています。まつりの前には各町内会・学校・企業・又は商店街に講習会や宣伝活動にいそしんであります。

小中学生対象の「じょんからKID」も結成以来5年を過ぎました。どしどし和楽器と触れ合うチャンスでありますので、入会してみませんか。

又、この機会に専門的に踊りや囃子など習得してみたい方を随時募集しております。

保存会事務局の（役場内）小川 227-6037 又は 248-1089 まで。

## 菊花協会

### 菊の花への誘引

今年四十八年目を迎えた当協会は、会員数が全盛期の半数以下に減りました。種々の機会を利用して会員を増やす努力をしていますが、思うに任せません。

大抵の家の前に、プランターや、鉢に植えられた花がきれいに咲いているのが見られます。これらの花を育てるのと同じように、菊を作つてみませんか。確かに菊作りは難しい面もありますが、最近は易しく作れる菊も出てきました。

協会では、ベテランの会員がお手伝いするとともに、親切にお教えします。

関心のある方、興味をお持ちの方の入会を会員一同心からお待ちしています。

連絡先  
248-1196まで

## 椿愛好会

### 椿にまつわる愛着

町花木「椿」の制定とともに歩んできた本会は、椿を通して「花と緑の町づくり」に取り組んで来ました。個性ある美しさに愛着し、ひたすら育てて町民対象に挿し木講習会等を開いたり普及に努めています。春の一大催事である「椿まつり」の礎は、本会設立十五周年の記念事業として企画実施したのが初めてであります。

以来文化協会の主催として実施されて来年で二十年になります。春の一大催事として企画実施したのが初めてであります。春の一大催事である「椿まつり」の礎は、本会設立十五周年の記念事業として企画実施したのが初めてであります。

これまで、我が町への愛着を深めることに繋がると、思いを寄せ活動しています。

## 美術文化協会

昨年の平成十九年十月二十日、美術文化協会展の三十回展を記念し、国際ホテルにて盛大な祝賀会を開催しました。

なごやかな内にも益々製作意欲をかきたてられ、今後の協会の発展を願いました。

今年も様々な行事が予定され、互いの作品を期待しているところです。

第30回記念展示会開催報告会



## 俳句協会

暮じに潤いを

俳句爱好者者の研鑽と親睦のために協会設立から十八年、さらなる発展をめざしています。主な行事は新年句会、春の椿まつり句展示、六月の総会吟行会、夏のじょんから祭俳句大会、マナビフェスタ俳句展示等です。



## 茶道協会

半夏生（はんげしょう）の白い花を愛でながら一服いただく。日々の忙しさ、喧騒を忘れてゆつたりと過ごす。その時々に応じて変わる茶具やお点前、四季の移り変わりを実感し心の安らぎを覚える茶道。

当協会は現在九十余名の会員からなり、平素はそれぞれの社中のもと（公民館サーカル含む）で研鑽に励んでいます。事業としては「マナビフェスタ」「椿まつり」

句会では有名な先生の選句や指導も行かれます。今年の吟行会は鳥越城址の往時を偲びつゝ青葉の自然を満喫。句会では瀬戸初枝さんが会長杯を、他の秀句には夫々賞が贈られました。

俳句に興味のある方のご参加を待っています。

参加者は年齢や学校学生に関係なく、金沢・能登・加賀地区の爱好者者の参加挑戦がみられています。小・中・高・大のそれぞれ学生の猛者の参加もみられ、静かで熱い戦いがみられます。

成績の記載は勝者が相手の成績も記入してください。初心者の方でもお気軽に参加してください。

野々市町文化協会だより

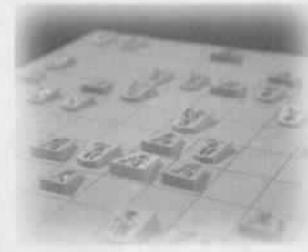
## 将棋協会

4クラスでリーグ戦

A級15名B級17名、C級20名、その他の方々のC2級は26名で、約100名の会員が二ヶ月単位でのリーグ戦が例会になつていている。毎期上位5名が昇級し、下位5名が次期降級になる。各級共実力次第で上下するが、各級共指定対局数が7局に決められており、対局不定者は降級になる。

参加者は年齢や学校学生に関係なく、金沢・能登・加賀地区の爱好者者の参加挑戦がみられています。

小・中・高・大のそれ



## 読書会連絡協議会

囲碁二段 ブックタイ

めまぐるしい情報化社会の中で自分の持ち時間を読書に傾けてみませんか。きっと何かを得ています。生きるヒントを感じとれると思います。

四つのグループがそれぞれ月一回の例会で活発に読後感を述べ合っており、夏は合同読書会。そして、マナビフェスタや椿まつりは、公開講演会を開催し、多くの町民の参加を頂いております。他に文学散歩も魅力

の一つです。



## 社交ダンス爱好者会

若さを保つためのシャツ・ウエーデンス?

社交ダンス爱好者会は、昭和61年に設立され、今年で22年目になります。その間多くの爱好者者が育ちました。

社交ダンスの良い所は、音楽を聞きながらリズムを感じ、体を動かして行います。

そして、楽しく踊っています。ストレスの発散にもなります。気持も体も若さを保つ事が出来ます。お気軽におこし下さい。

初心者歓迎します。



## 短歌協会

協会設立十四年を迎えた。

会員それぞれ短歌への意欲を高め、椿祭・文化祭はも

どより、県内外の

大会への積極的な

大会への積極的な

応募をしておりま

す。

四月二十三日、震災復興一周年記念和食温泉NHK短歌大会に参加しました。中央の選者による講演会もあり全国から参加された人達と復興を喜び、能登の春を満喫しました。

総会を兼ねた吟行では錢五の館と萬葉旧蹟の砺波山を訪ね、山麓の俱利伽羅塾で陶山弘一先生の「萬葉集の砺波山」と題してのお話がありました。

砺波山は古くは、刀菜美山と呼ばれて萬葉集に詠まれ、大伴家持の「焼太刀を砺波の闇に明日よりは守部遣り副へ君を留めむ」は古代砺波山には関所がありましたが、当時はもう廢れていたので関守を遣わして使者（平栄）をおし留めようとした歌です。

現場で先生の解説を聞き得がたい吟行の一日を喜びました。

また、年齢に関係なく年齢に合わせて、叩きたい、叩きたい、舞いたい、唄いたい方は各地区公民館があるいは役場教育委員会文化振興課文化協会担当まで問い合わせ願います。

また、年齢に合わせて、叩きたい、叩きたい、舞いたい、唄いたい方は各地区公民館があるいは役場教育委員会文化振興課文化協会担当まで問い合わせ願います。

## 民謡協会

来る八月二十四日(日) 第二十回記念発表会

オルテ大ホールで行います。その発表会に向けて会員一同その練習に励んでいます。今日は、ゲストに秋田民謡若手のホープ田中恵さんをお迎えしています。その他盛り沢山のバラエティに富んで内容ですので是非ご覧頂きたいと思います。



## 能楽爱好者会

能楽爱好者会はお陰様で発足五年目を迎えました。年々内容も充実し、去る四月十三日に末松庵寺で行われた「桜のイベント」に参加し能楽を披露、四月二十七日に爱好者会員による第五回発表会を開催しました。

した、「野々市こども能楽教室」第二期を室」第二期を開講しました。五月十七日に開講しました。

「マナビ

フェスタ2008」「椿まつり2009」には充実した内容でのぞみたいと精進いたしています。



文化振興賞  
館 信子  
坂井 菜子  
宮岸 喜美子

中村 邦子  
短歌協会役員として会の運営・活動に多大な貢献

短歌協会役員として会の運営・活動に多大な貢献

● 平成十九年度文化協会表彰贈呈式が十一月三日(文化の日)文化会館フォルテにて挙行され、次の四氏に表彰状と記念品を贈り、それぞれ功労、功績をたたえました。(敬称略)

文化振興賞

野々市町 文化協会表彰  
文化活動の功労功績をたたえる



わが協会にこの人あり ☆加盟団体を支え活躍中の方や、「期待の星」の方を紹介するコーナーです。



民謡協会  
上田 昭夫さん

優しさの中に芯があり、会議中も信念ある意見を出され、統率力も抜群。句会では、必ず入選句の披講をされ、一句一句の佳さを一層高める役も引き受けておられる。公私共に多忙な中、責任感が強く、俳句協会には必要不可欠な方です。



俳句協会  
副会長 進村 五月さん

「いつのまにか誰かが来てやつてある」、「いつのまにか済んどる」ってことがあります。その何時の間にかやつてくれるのがこの方です。かといつて、「わしがやつた、済ませた」と言うわけでなし、知らん顔をしている。従つて、最初のころはよく首を傾げることがありました。また「イヤ」という言葉は聞いたことが無いくらいで、何かの役職を頼む時だけ、最初は間違いなく断られますが、一度引き受けたら徹底した仕事をします。それくらいに裏方に徹しており、時には私が杜撰・曖昧なことをやって恥ずかしくなることもあります。が、いつまでも若くはありません。麻雀バチンコはほどほどに、あまり無理をせず、共に協会発展のためにがんばっていきましょう。

現在、当協会の理事と、発表会には舞台監督をやつて頂いております。身体は頑健なほうだろうと思いますが、いつまでも若くはありません。麻雀バチンコはほどほどに、あまり無理をせず、共に協会発展のためにがんばっていきましょう。

平成20・21年度 野々市町文化協会役員

職名	氏名	所属団体	職名	氏名	所属団体
顧問	栗 貴章 大東 和美 吉田 修 村上 総喜 帆苅 宏典	野々市町長 野々市町議会議長 石川県議会議員 野々市町教育長 前文化協会会长	常任理事	魚住 慧子 小林 清 安田 光男 香城 清子 金田 吉敬	読書会連絡協議会 俳句協会 茶道協会 短歌協会 能楽愛好会
参与	二又 米造 丸山 順孝 北 清志	前文化協副会长 前文化協副会长 前文化協会理事長	理事	森田外代美 川岸 忠次 北 時子 又多 好子 山内 健司 西永 正雄 窪田 弘	じょんから節保存会 菊花協会 椿愛好家 華道協会 盆栽愛好会 囲碁協会 将棋協会
会長	内村 栄一			埴生登喜子 中村トシ子 中村 三朗 坂井 菜子 酒井喜和江 古田美津子 村上 慎市	読書会連絡協議会 社交ダンス愛好会 民謡協会 俳句協会 茶道協会 短歌協会 能楽愛好会
副会長	飴谷久太郎 奥村誠一路 山口 正昭	民謡協会	監事	又多 好子 山内 健司	美術文化協会 音楽文化協会
理事長	山谷 光輝	社交ダンス愛好会	幹事	宮前 定明 橋場 浩	
副理事長	柳田 正久				
常任理事	朝倉 忠雄 南 憲志 宮崎 昭男 新 富士子 山本 晃彦 若島 翠節 星場 外也 源野 辰一 朝日 三男	じょんから節保存会 菊花協会 椿愛好会 美術文化協会 音楽文化協会 華道協会 盆栽愛好会 囲碁協会 将棋協会			

平成20年度 主な事業計画

月日	事業名	場所
7月11日～7月21日	野々市町美術展後援	カメリア
8月1日	文化協会だより21号発刊	町内全戸配布
8月2・3日	野々市じょんからまつり協賛	フォルテ周辺
10月20日～11月3日	ののいちマナビィフェスタ2008協賛	中央公民館 フォルテ 郷土資料館
11月3日	文化協会表彰贈呈式	フォルテ
11月上旬	視察研修会	未定
11月15日・16日	ビッグアッフルインののいち2008協賛	フォルテ
12月1月中旬	新年懇親パーティー	フォルテ
3月21日・22日	花と緑ののいち椿まつり2009	フォルテ 教育センター 郷土資料館